

雲南圏域における次期可燃ごみ広域処理施設整備基本構想策定業務委託
公募型プロポーザル選定委員会設置要綱

(設置)

第1条 雲南市・飯南町事務組合(以下「組合」という。)が発注する雲南圏域における次期可燃ごみ広域処理施設整備基本構想策定業務委託(以下「業務委託」という。)について、公募型プロポーザル方式により受注者を選定するため、雲南市・飯南町事務組合プロポーザル方式受注者選定委員会条例(令和2年雲南市・飯南町事務組合条例第1号)に基づき、雲南圏域における次期可燃ごみ広域処理施設整備基本構想策定業務委託公募型プロポーザル選定委員会(以下「選定委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 選定委員会は、次に掲げる事項について調査審議し、その結果を管理者へ報告するものとする。

- (1) 業務委託に係る受注者の選定基準に関すること。
- (2) 受注者の選定に係る審査に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、受注者の選定に関し必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 選定委員会は、10人以内の委員をもって組織し、管理者が委嘱又は任命する。

- 2 委員は、識見を有する者、組合を構成する市町並びに奥出雲町(以下「関係市町」という。)の住民の代表及び関係市町の副市長、副町長、廃棄物担当職員をもって充てる。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から受注者を選定する日までの期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 選定委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 委員長は、選定委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 選定委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、議長となる。ただし、最初に行う会議は、管理者が招集する。

- 2 会議は、委員の過半数によって成立する。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

4 議長は、必要があると認めるときは、会議に関係者を出席させ、その意見又は説明を求めることができる。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を厳守しなければならない。その職を退いた後も同様とする。

(事務局)

第8条 選定委員会の事務局を雲南市・飯南町事務組合環境事業部施設整備課に置く。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、選定委員会の運営に必要な事項は、委員長が選定委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。